

# 日ごろの成果を披露



平尾小学校3・4年生33人による合奏

11月9日、長島町文化ホールで第6回長島町小・中学校音楽発表会が開催されました。

この発表会は、日ごろの音楽活動の成果を発表する機会を設けることで、音楽を愛好し、人間性豊かな児童、生徒を育み、音楽感覚と技能の向上を図ることを目的として実施されています。

この日は、町内の小学校11校と中学校5校の計16校から、児童、生徒約600人が参加し、学校ごとに趣向を凝らした合唱や合奏などを披露しました。

午前の部で1番目に登場した鷹巣小学校の4年生25人は、指揮者の先生にあわせ「まきばの朝」と「さんぽ」を合唱と合奏で楽しく元気に披露しました。

午後からの出番となった本浦小学校の全校児童44人は、趣向を凝らした「走れメロス」の音楽劇を披露し、会場

からたくさんさんの拍手が送られました。

午前と午後に分かれて行われたそれぞれの最後には、芸術の秋にふさわしい「まっかな秋」の全体合唱があり、会場内は児童、生徒の歌声が響きわたりました。

講評で霧島国際音楽ホールの坂下修事業課長は「合奏はさまざまな楽器で構成され、バランスよく演奏されていた。合唱も力みのない自然な歌声と歌詞を大切にしていた歌いかたで感動した」と話し、どの学校もこれまでの練習の成果を遺憾なく発揮した見ごたえのある発表会となりました。

